

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	今後の健康診断の在り方に関する調査研究		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	学校健康教育課		学校健康教育課長 大路 正浩		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	学校保健安全法 第13条、第17条 学校保健安全法施行規則 第6条、第7条		<b>関係する計画、 通知等</b>	—				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	新型インフルエンザや麻しん・風しん等の各種感染症や、ぜん息、アトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患など多様化・深刻化の傾向にある児童生徒等の現代的健康課題を踏まえ、児童生徒等に対する健康診断について、近年の学校における実施体制の実態を検証するとともに、今後の在り方等について検討する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	健康診断の実施状況、事後措置、予算等の実態調査を行い、その調査結果を分析し、健康診断の項目、方法及び技術的基準、事後措置など、今後の健康診断の在り方等について検討する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			19.2	1.6	4.1	
		繰越し等			-			
		計			19.2	1.6	4.1	
	執行額			8.4				
	執行率(%)			43.8%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	今後の健康診断の在り方について調査研究することを目的とする事業であり、定量的な成果目標等を定めることは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、調査研究を行うものであり、活動指標等を数値で定量化することは困難。		活動実績 (当初見込み)	—	—	(—)	(—)	(—)
<b>単位当たり コスト</b>	—		算出根拠	—				
<b>平成24・25年度 予算内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.9百万円	0.9百万円					
	職員旅費	0百万円	0.4百万円					
	委員等旅費	0.67百万円	1百万円					
	教職員研修費	0.03百万円	1.8百万円					
	計	1.6百万円	4.1百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	学校保健安全法第17条において、学校における健康診断に関する事項については、政令及び省令で定めるものとなっており、国が今後の健康診断の在り方について検討すべきである。 不用率が大きくなっている理由は、契約価格が予定を大幅に下回ったこと等のためである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成23年度は、健康診断について実態調査を行い、その結果をもとに、翌年度から、有識者による分析を行っている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・本事業は、平成23年度に健康診断について実態調査を行い、平成24年度から調査結果をもとに、有識者による分析を行っている。平成23年度は、不用率が大きかったが、平成24年度においては、有識者会議のスケジュール管理を徹底し、予算を適正に執行する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、新型インフルエンザや麻しん・風しん等の各種感染症や、ぜん息、アトピー性皮膚炎等のアレルギー疾患など多様化・深刻化の傾向にある児童生徒等の現代的健康課題を踏まえ、児童生徒等に対する健康診断について、近年の学校における実施体制の実態を検証するとともに、今後の在り方等について検討する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：当該事業は、健康診断について実態調査を行った平成23年度の決算において不用額が生じているが、実態調査は平成23年度で完了している。平成24年度からは調査結果をもとに、有識者による分析を行っているが、事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	健康診断の実態調査は平成23年度限りのものであり、その執行実績を概算要求に反映することはできないが、平成24年度から実施している有識者による分析について、その進捗状況を踏まえて会議開催回数を見直し、概算要求額に▲0.7百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
○今後の健康診断の在り方に関する検討会 <a href="http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/013/index.htm">http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/013/index.htm</a> (文部科学省HP)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0067

文部科学省  
8.4百万円

諸謝金 0.04百万円を含む

〔 児童生徒等に対する健康診断の実施状況、  
事後措置、予算等の実態調査を委託 〕



【公募・委託】

A.(財)日本学校保健会  
8.3百万円  
(今後の健康診断の在り方に関する調査)

〔 児童生徒等に対する健康診断の実施状況、事後措置、  
予算等の実態調査を実施 〕

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

A.財団法人日本学校保健会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通信運搬費	調査票の送料	3.1			
雑役務費	データ入力業務等	2.7			
人件費	事務補助員	0.8			
その他	印刷製本費、消耗品費、諸謝金、旅費等	1.7			
計		8.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

### 支出先上位10者リスト

#### A. 今後の健康診断の在り方に関する調査

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本学校保健会	今後の健康診断の在り方に関する調査	8.3	1	※

※同種の他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表